

講義コード	25468019	
担当者	利光 強 教授	
研究題目	経済学的思考を身につけ、国際経済学の謎に挑む	
<p>(1) ゼミの目的など</p> <p>学部における経済学教育では、「経済学的思考力」を修得することが基本です。本ゼミではその能力を身につけるだけでなく、国際経済に関する問題意識を深める授業をします。</p> <p>国際経済学には「パラドックス」、「アノマリー」、「病」と名のつく多くの問題があります。それは理論的な問題であったり、実証（あるいは、「現実」）と理論との齟齬であったりします。その謎の解明にゼミ生の積極的な参加を期待します。なお、演習担当者の専門領域の関係で理論的アプローチ（数理的なモデル分析）を基本とします。したがって、統計・計量的な実証分析を学びたい人は、それを専門とするゼミをお勧めします。</p> <p>(2) ゼミの運営など</p> <p>テキスト等を利用し、ゼミを行います。ミクロ経済学やマクロ経済学、そして経済数学の知識を必要とします。したがって、いわゆる「楽勝」ゼミではありません。</p> <p>おおよそ次のようなステップで入門からⅠ、そしてⅡへ進みます。</p> <p>入門：基礎的な国際経済学の学習【準備段階】</p> <p>Ⅰ：主に、国際経済や産業組織に関するテーマで共同研究論文の作成</p> <p>Ⅱ：主に、国際経済学分野のなかでテーマを探し、卒業研究論文の作成。</p> <p>《注意事項》</p> <p>①演習は講義と違って、少人数による集中的な授業形式であるので、授業での議論や実習に積極的に参加することが必須です。理由もなく欠席したり、遅刻したりすると、ゼミ運営に多大の影響を与え、他のゼミ生や演習担当者に迷惑をかけることとなります。したがって、無断欠席・遅刻者に対しては、相当のマイナス評価をします。また、授業中に「馬鹿話」、「スマフォいじり」、「居眠り」、「幽体離脱」などをする者に対しても、同様の処置を取ります。</p> <p>②ゼミ活動よりも他の活動（アルバイト、課外活動等）を優先することはできません。</p> <p>(3) 選考など</p> <p>履修を希望するものは、①ゼミ志望理由書と②簡単な課題を期日内に事務室へ提出してください。また、面接を実施する場合があります。その際は、必ず面接を受けてください。</p> <p>*未提出や面接欠席の場合、受け入れることができませんので、注意してください。</p>		
受け入れ条件		<p>1. 上記、(3)の①と②を必ず提出すること。</p> <p>2. 面接を受けること。</p>
担当者のプロフィール	専攻	国際経済学、産業組織論、応用ミクロ経済学
	現在の研究テーマ	Externality, Network effect, and Platform
	所属学会	日本経済学会、日本応用経済学会、日本カナダ学会 American Economic Association、Canadian Economic Association、IEFS Japan